

事務事業名	生活習慣病予防事業	事務事業No.	10201000324	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ S57年度より老人保健保健法に基づき事業開始、平成20年度に法廃止となり健康増進法に変わった。生活習慣に起因するメタボリックシンドロームや糖尿病等の増加など、生活習慣病を予防するための健康教育や疾病の重症化予防のための個別指導が重要となっている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 健康教室の終了後アンケート結果から、「内容に興味があったから」「テーマがおもしろそうだったから」という意見が多く、多くは広報とチラシをみて参加している。今後聞きたい内容として、「認知症」「栄養」「口腔」等の意見が多くあった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 健康づくりの推進の政策に結びついている。生活習慣を見直し改善することにより生活習慣病による死亡率を減少させる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 健康増進法に基づく事業であり、医療費抑制のためにも市が実施すべきである。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 生活習慣病の予防対策として、市民の健康課題に応じた対応が必要であるが、専門職のマンパワー不足が問題である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 健康意識向上や生活習慣の見直しの機会が減少し生活習慣病の発症が増えることにより、医療費や介護給付費の増加、ひいては生活習慣病による死者数の増加につながる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 国保年金課のデータヘルス事業及びヘルスアップ事業に一部統合が可能である。 健康づくりのための運動として、スポーツ振興課との連携、小児からの生活習慣病予防として児童福祉課や学校教育課との連携の可能性がある。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 健康教育については、医師会の講師謝礼とパンフレット等のみで事業費は削減できない。個別教育や訪問については、委託せず保健師・栄養士が直営で実施している。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 広報やホームページ等で周知し、市民を対象に実施している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施している。参加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。コロナ禍の影響により中止する内容が多く、個別教育や訪問指導を中心にハイリスクアプローチを実施した。主に国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者抽出や分析等連携が必要である。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 参加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプローチが課題である。健診データ等の分析や、国の指針等を確認し内容や対象を選定していく。国保年金課、高齢福祉課、児童福祉課等の健康課題を具体化し一元的なポピュレーションを検討する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>